

**厚生労働省委託事業 がん診療連携拠点病院
PDCAサイクル体制強化事業**

がんとの共生を目指した取り組み ～社会連携に基づくがん対策・がん患者支援～

**慶應義塾大学病院 腫瘍センター
浜本康夫**

令和4年度 がん診療連携拠点病院 PDCAサイクルフォーラム

第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）（概要）

資料6

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防
- (2)がんの早期発見、がん検診
(2次予防)

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

3. がんとの共生

社会連携に基づくがん対策・がん患者支援

現状・課題

- ◆ 拠点病院等と地域の医療機関等との連携、在宅医療を提供する施設におけるがん医療の質の向上を図る必要がある。

取り組むべき施策

- ◆ 多職種連携の推進、地域の施設間の調整役を担う者の養成

- ◆ 苦痛のスクリーニングの診断時からの実施、緩和ケアの提供体制の充実
- ◆ 緩和ケア研修会の内容や実施方法の充実

相談支援・情報提供

現状・課題

- ◆ がん相談支援センターが十分に利用されていない。
- ◆ がんに関する情報が氾濫し、正しい情報取得が困難な場合がある。

取り組むべき施策

- ◆ 治療早期からのがん相談支援センターの利用促進、体制整備
- ◆ 科学的根拠に基づく情報提供、医業等のウェブサイト監視体制強化

社会連携に基づくがん対策・がん患者支援

現状・課題

- ◆ 拠点病院等と地域の医療機関等との連携、在宅医療を提供する施設におけるがん医療の質の向上を図る必要がある。

取り組むべき施策

- ◆ 多職種連携の推進、地域の施設間の調整役を担う者の養成

- ◆ がん患者への「トライアングル型サポート体制」の構築
- ◆ アピアランス支援研修会の開催、生殖機能温存等に関する相談支援、情報提供のあり方の検討

ライフステージに応じたがん対策

現状・課題

- ◆ 小児・AYA世代において、多様なニーズが存在し、成人のがんとは異なる対策が必要とされている。
- ◆ 高齢者は、認知症を合併することが多いが、がん医療における意思決定等の基準は定められていない。

取り組むべき施策

- ◆ 小児・AYA世代のがん経験者の長期フォローアップ体制の整備
- ◆ 認知症等を合併したがん患者や、看取り期における高齢のがん患者の意思決定支援策の検討

地域連携

情報提供

コラボ

課題

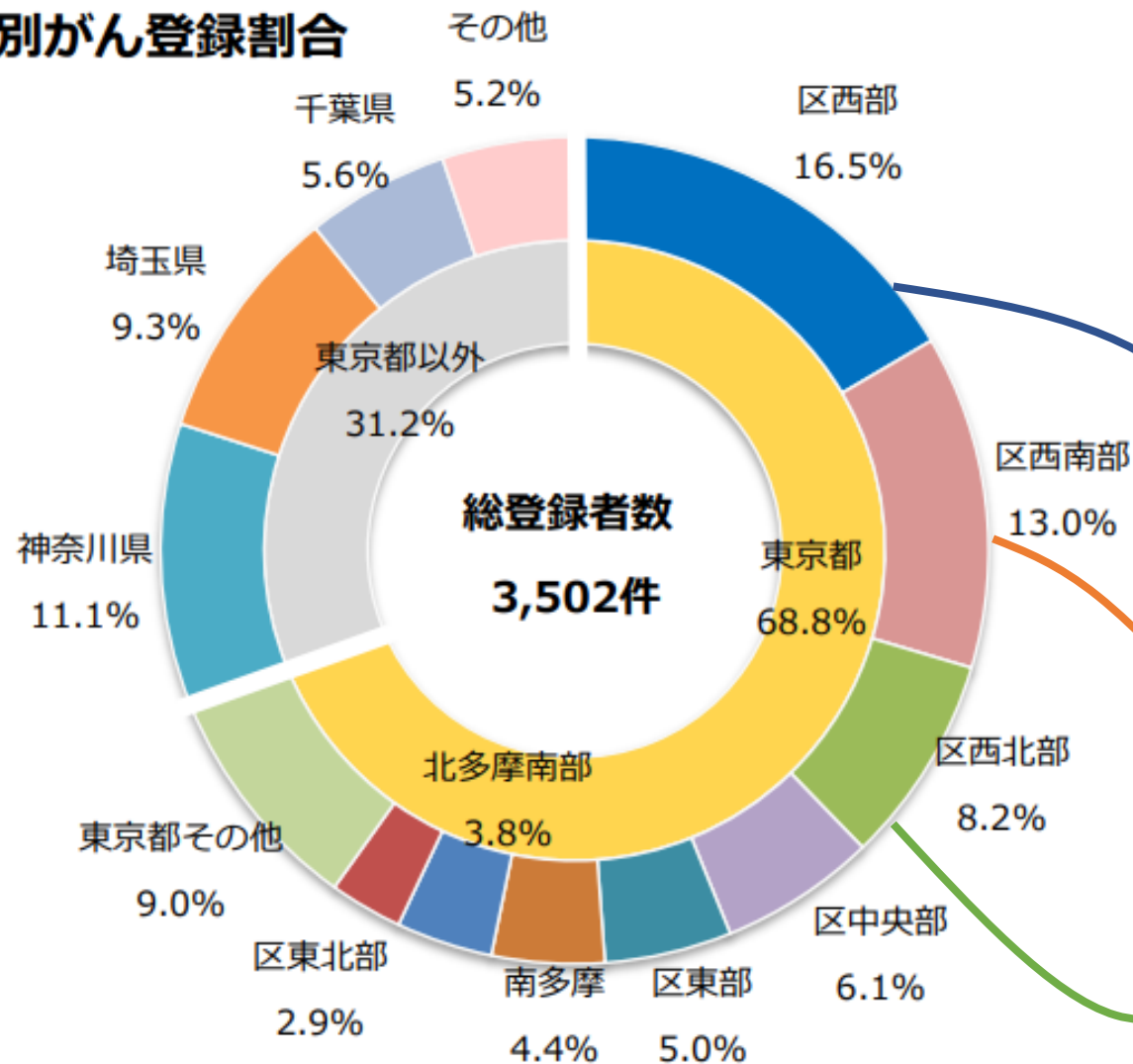
地域連携

情報提供

コラボ

課題

地域別がん登録割合



区西部

区西南部

区西北部

新宿・中野・杉並

目黒、渋谷、世田谷

豊島、北、板橋、練馬



来院の方

初めて受診される方

診察のご予約の流れ

通院中・再来の方

ご予約の確認・変更

診断書・診療報酬証明書発行

会計・支払い

エクスプレス会計

高額療養費制度について

総合相談窓口のご案内

セカンドオピニオンについて

がんと診断された方へ

- ▼ [1. がんの種類による担当診療科一覧](#)
- ▼ [2. がん専門初診外来](#)
- ▼ [3. がんの種類による治療法](#)
- ▼ [4. がんゲノム医療](#)
- ▼ [5. AYA世代（思春期・若年成人）のがん患者さんへ](#)
- ▼ [6. 緩和ケア](#)
- ▼ [7. がんに関する相談・支援](#)
 - 7-1. がん相談支援センターのご案内
 - 7-2. セカンドオピニオン外来のご案内
 - 7-3. がん患者とその子どものサポート（SKIP,KEIO）
- ▼ [8. がん登録](#)
- ▼ [9. 地域がん診療連携拠点病院としての取り組み](#)
 - 9-1. キャンサーボードの設置
 - 9-2. 地域のがん診療の連携協力体制の構築
 - 9-2-1. 東京都医療連携手帳について
 - 9-2-2. 緩和ケア連携

9-2-2.緩和ケア連携

東京都区西部緩和ケア連携推進事業 看護師部会、介護・福祉部会では「わたしの道しるべ」を毎年作成しています。がんと診断された方が様々な疑問や不安を抱えた時に手にできる冊子を作ること、そして専門職にも患者支援に活用いただくことを目的に、緩和ケアに関する医療資源の情報収集と共有化を図るために、医療・福祉機関のがんや療養に関する相談窓口等（新宿・杉並・中野）をまとめています。

① わたしの道しるべ Part1 がんと共に生きる人々へ 2021年改訂版 PDF

- ・ 発行：東京都区西部緩和ケア連携推進事業事務局 慶應義塾大学病院緩和ケアセンター
- ・ 内容：がんと診断された方が抱える様々な疑問や不安に対応する相談窓口のご紹介



② わたしの道しるべ Part2 家で暮らしたい～あなたの緩和ケア～ 2022年改訂版 PDF

- ・ 発行：東京都区西部緩和ケア連携推進事業事務局 慶應義塾大学病院緩和ケアセンター
- ・ 内容：訪問診療や訪問看護、介護の準備を具体的に進めていくための実践編



国立がん研究センターがん情報サービス



患者やその家族等が、医療者と共に適切な意思決定ができるよう信頼のおける情報を掲載しています。

WAM NETワムネット



独立行政法人福祉医療機構が運営する福祉・保健・医療の総合情報サイトです。

東京都がんポータルサイト



東京都福祉保健局 HP にて、がんに関する様々な情報を掲載しています。

特定非営利活動法人日本ホスピス緩和ケア協会



ホスピス・緩和ケアについての知識が掲載されています。

介護サービス情報公表システム(厚生労働省)全国版



介護事業所が検索できます。



東京都西部緩和ケア連携推進事業
わたしの道しるべ Part2
家で暮らしたい
—あなたの緩和ケア—

わたしの道しるべ Part1 がんと共に生きる人々へ

発行 東京都西部緩和ケア連携推進事業
事務局 慶應義塾大学病院緩和ケアセンター
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地
TEL 03-3353-1211(内線:61616)
発行日 初版 2014年8月26日
第5版 2021年3月31日
制作 unelny 山田 真弓

本書「わたしの道しるべ がんと共に生きる人々へ」に関するお問い合わせやご意見・ご要望は、上記事務局までお気軽にどうぞ。

初版～5版共同編集者

船谷隆子・武石真月・池谷浩香・品田雄希・鈴木由・藤平雅明・志賀士子(東京医科大学病院)、瀧田都子・久住成有美・藤田幸子・甲真奈美(慶應義塾大学病院)、大塚洋子・田中優子・佐藤由紀子・池田由美・藤井淳子・村本ゆう子(東京女子医科大学病院)、田代真理・井上明美・堀本亮子・高山裕子・太田英恵(UCHO 東京新宿メディカルセンター)、松岡幸子・金高弥穂・中山舞羅・伊東みなみ(国立国際医療研究センター病院)、山崎久子(新宿区訪問看護ステーション・新宿区健康増進づくり課在宅医療支援係)、池田幸代(中野区立なかの訪問看護ステーション)、中村みどり(訪問看護リハビリステーションマザーズ中野事業所)、久尾知恵子(河北訪問看護リハビリステーション阿佐ヶ谷)、伏田さやか(11介護センター本館訪問看護ステーション)、小堀田英子(野崎クリニックさくら訪問看護ステーション)、古川裕子(訪問看護ステーションあさぎ病院)、田中真樹子(ケアアカサ第一・第二のフレイド)、秋山正子(暮らしの健康増進・白十字訪問看護ステーション)、藤田由子(白十字訪問看護ステーション・わいば)、堀本幸子(新宿区健康増進づくり課在宅医療支援係)、神野真紀(あけぼの訪問看護ステーション)、斎藤貴史(中野区社会福祉推進ステーション)、坂本寿子(ソフィア訪問看護ステーション阿佐ヶ谷)、渡辺唯子(やさしい・手前町住宅介護支援事業所)、渡辺由(アタビグサート平塚田)、前美穂子(中野在宅ケアセンター)、宮田真知子(江古田地域包括支援センター)、木村真(つむぐケア本館)、本郷公子(ジャックケア御台場・谷)、宮坂知恵(NPO ビックケアケア)、和泉隆(ハーモニー)、赤尾健史(SOMPO ケア南新宿住宅介護支援)、廣末美千代(厚生引介介護支援事業所)、柳沢純子(廣川ケアセンター)、石崎香織(東京西部保健生活協同組合介護支援事業所)

第5版編集協力者：新宿区医師会・杉並区医師会・中野区医師会

※上記の所属名は制作時の所属となり、現在と異なる場合があります。

2021 年改訂版

わたしの道しるべ Part1 がんと共に生きる人々へ



東京都西部緩和ケア連携推進事業
—新宿区・杉並区・中野区—

初版～5版共同編集者

柏谷優子・武石葉月・池谷清香・品田雄市・鈴木豊・藤平輝明・志賀圭子(東京医科大学病院)、須山郁子・久住真有美・藤田幸子・岸真奈美(慶應義塾大学病院)、大堀洋子・田中優子・佐藤由紀子・渡邉直美・藤井淳子・村本ゆう子(東京女子医科大学病院)、田代真理・井上明美・榎本英子・高山裕子・太田英恵(JCHO 東京新宿メディカルセンター)、松村幸子・金高弥穂・中山輝雄・伊東みなみ(国立国際医療研究センター病院)、山藤久子(新宿区訪問看護ステーション・新宿区健康部健康づくり課在宅医療支援係)、徳江幸代(中野区立なかの訪問看護ステーション)、中村みどり(訪問看護リハビリステーションマザーズ中野事業所)、矢尾知恵子(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷)、伏田さい子(日介センター永福訪問看護ステーション)、小松田英子(野崎クリニックさくら訪問看護ステーション)、古川裕子(訪問看護ステーションしらさぎ桜苑)、田中美根子(ケアアカデミー葉っぱのフレディ)、秋山正子(暮らしの保健室・白十字訪問看護ステーション)、細谷恵子(目白訪問看護ステーション・わいは)、松本幸子(新宿区健康部健康づくり課在宅医療支援係)、神野真紀(あけぼの訪問看護ステーション)、遠藤貴栄(中野区医師会訪問看護ステーション)、荒木博子(ソフィア訪問看護ステーション阿佐ヶ谷)、旗野映子(やさしい手新宿居宅介護支援事業所)、荒船淳(アクティブサポート早稲田)、渥美頼子(中野在宅ケアセンター)、富田眞紀子(江古田地域包括支援センター)、木村恵(つむぐケア永福)、本郷公子(ジャパンケア南阿佐ヶ谷)、宮原和道(NPO ピクニックケア)、和泉稔(ハーモニー)、奈尾健史(SOMPO ケア南新宿居宅介護支援)、廣末美千代(弥生居宅介護支援事業所)、柳沢綾子(清川ケアセンター)、石垣香織(東京西部保健生活協同組合指定居宅介護支援事業所)

第5版編集協力者 | 新宿区医師会・杉並区医師会・中野区医師会



介護事業所が検索できます。



東京都西部緩和ケア連携推進事業
わたしの道しるべ Part2
家で暮らしたい
～あなたの緩和ケア～

わたしの道しるべ Part1
がんと共に生きる人々へ

発行 東京都西部緩和ケア連携推進事業
事務局 慶應義塾大学病院緩和ケアセンター
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地
TEL 03-3353-1211(内線:61616)
発行日 初版 2014年8月26日
第5版 2021年3月31日
制作 unelny|山田真弓

本書「わたしの道しるべ がんと共に生きる人々へ」に関するお問い合わせやご意見・ご要望は、上記事務局までお気軽にどうぞ。

初版～5版共同編集者

柏谷優子・武石葉月・池谷清香・品田雄市・鈴木豊・藤平輝明・志賀圭子(東京医科大学病院)、須山郁子・久住真有美・藤田幸子・岸真奈美(慶應義塾大学病院)、大堀洋子・田中優子・佐藤由紀子・渡邉直美・藤井淳子・村本ゆう子(東京女子医科大学病院)、田代真理・井上明美・榎本英子・高山裕子・太田英恵(JCHO 東京新宿メディカルセンター)、松村幸子・金高弥穂・中山輝雄・伊東みなみ(国立国際医療研究センター病院)、山藤久子(新宿区訪問看護ステーション・新宿区健康部健康づくり課在宅医療支援係)、徳江幸代(中野区立なかの訪問看護ステーション)、中村みどり(訪問看護リハビリステーションマザーズ中野事業所)、矢尾知恵子(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷)、伏田さい子(日介センター永福訪問看護ステーション)、小松田英子(野崎クリニックさくら訪問看護ステーション)、古川裕子(訪問看護ステーションしらさぎ桜苑)、田中美根子(ケアアカデミー葉っぱのフレディ)、秋山正子(暮らしの保健室・白十字訪問看護ステーション)、細谷恵子(目白訪問看護ステーション・わいは)、松本幸子(新宿区健康部健康づくり課在宅医療支援係)、神野真紀(あけぼの訪問看護ステーション)、遠藤貴栄(中野区医師会訪問看護ステーション)、荒木博子(ソフィア訪問看護ステーション阿佐ヶ谷)、旗野映子(やさしい手新宿居宅介護支援事業所)、荒船淳(アクティブサポート早稲田)、渥美頼子(中野在宅ケアセンター)、富田眞紀子(江古田地域包括支援センター)、木村恵(つむぐケア永福)、本郷公子(ジャパンケア南阿佐ヶ谷)、宮原和道(NPO ピクニックケア)、和泉稔(ハーモニー)、奈尾健史(SOMPO ケア南新宿居宅介護支援)、廣末美千代(弥生居宅介護支援事業所)、柳沢綾子(清川ケアセンター)、石垣香織(東京西部保健生活協同組合指定居宅介護支援事業所)

第5版編集協力者 | 新宿区医師会・杉並区医師会・中野区医師会

※上記の所属名は制作時の所属となり、現在と異なる場合があります。

2021年改訂版

わたしの道しるべ Part1
がんと共に生きる人々へ

東京都西部緩和ケア連携推進事業
～新宿区・杉並区・中野区～

暮らしの中の 医療のカタチ 支える人々

あなたの周りには、たくさんの専門家がいます。
あなたが求めている支援を適切に受けるために、
心強いサポーターをみつけましょう！

病気のこと
生活のことなど含めて
一緒に考えてくれる
かかりつけ医を
持たしましょう！

病院の医師

病状を評価し治療方針の決定と治療を行います。精神科や内科などの医師や、各専門職と連携をとり最善の医療提供を考えます。

看護師

病棟や外来であなたの一番身近な存在です。治療や療養に関する希望を聞き取り、病状や心身の状態にそったケアを提供します。

薬剤師 / 訪問薬剤師

医薬品を適正かつ安全に使用できるように管理し、副作用を極力回避できる選択や工夫を行います。医師や訪問看護師等と連携をとりながら、在宅での治療を支えます。

リハビリ専門職

病院や自宅で身体機能の障害に合わせてリハビリの専門職が機能の維持や回復を目指します。

管理栄養士

栄養状態を把握し問題があれば、食事療法を中心に調理法や食事の形態等の工夫を行います。

ソーシャルワーカー

療養生活上の不安、医療費、仕事、介護・福祉サービス等の相談に応じます。

臨床心理士

こころの問題に寄り添い、カウンセリングなどを通して、支援します。

ヘルパー

日常生活に支障のある高齢者や障害者の家庭に訪問し家事サービスや身体の介護を提供します。

訪問診療医師

定期的に自宅を訪問し、病状管理を行い、容体悪化時に緊急訪問します。

訪問歯科医師

歯科衛生士と共に自宅で歯科治療や食生活のための支援をします。

訪問看護師

住み慣れた地域や家庭で自分らしく生活ができるよう、看護ケアを提供します。

ケアマネジャー

ケアプランを作成し、主治医やサービス事業者等との連絡調整を行います。

私
ど
た
ん
な
疑
問
や
心
配
事
で
も
私
に
伝
え
て
く
だ
さ
い
。

暮らしの中の 医療のカタチ 医師編

あなたが住む地域の医療機関は、一見同じように見えても、それぞれが違う役割を持っています。そして医師の診療の仕方も異なります。その違いを知って、あなたの体調に合う医療機関を選択しましょう。



クリニック

往診なし

普段、体調変化の際に受診する医療機関

かかりつけ医

往診あり

診察時間の合間に往診を行う医療機関



訪問診療 / 在宅療養支援診療所

訪問診療

定期的、または緊急時に訪問する医療機関

在宅療養支援診療所

24時間365日に対応する医療機関



急性期病院

上の医療機関からの紹介により治療を提供する医療機関もしくは、救急を要する患者を受け入れる医療機関

急性期医療

急性期病院の治療後は、紹介元の病院やお住まいの近くの医療機関で経過を診てもらいます。

2人主治医制

急性期病院での治療を終えた後も、定期検査や入院治療に対応できるように
住まいの近くの病院と急性期病院が連携します。
このような連携を図る体制を**2人主治医制**と言います。

住まいの近くの
かかりつけ医



必要時に連携

急性期病院

新宿MAP

新宿区のがんや療養に関する相談窓口はこちらです。
がんの拠点病院には、がん相談支援センターがあります。

- +** 地域がん診療連携拠点病院
全国どこに住んでいても、適切ながん治療を受けられるように設置された病院
・慶應義塾大学病院
・東京医科大学病院
・国立国際医療研究センター病院
- +** 東京都がん診療連携拠点病院
肺 / 胃 / 大腸 / 肝 / 膵 / 胆 / 腎臓がんの6つの部位ごとに、専門的ながん治療を提供している病院
・JCHO 東京新宿メディカルセンター
- +** がんセンター
|がんセンターを有している病院
・東京女子医科大学病院
- ホスピス / 緩和ケア病棟
|がんに伴う苦痛状態を和らげる専門的治療・看護を行う病棟
・JCHO 東京新宿メディカルセンター
- 在宅医療相談窓口
|在宅医療に関する様々な相談に応じる窓口
・新宿区健康部健康づくり課
(令和3年4月から「地域ケア連携」へ名称変更)
- 摂食嚥下相談窓口
|食べることに悩みや不安のある方を専門的に支援する施設
・在宅医療相談窓口(新宿こくくプロジェクト)
- 地域包括支援センター
|保健 / 医療 / 福祉の専門職がサービスを円滑に受けられるよう総合的な支援をする施設
・高齢者総合相談センター
- 保健所 / 保健センター
|保健師、看護師、栄養士等による地域住民に対する健康相談、保健指導などを行う施設
・保健所
・保健センター
- 看護小規模多機能型居宅介護
|通い・訪問看護・訪問介護・居宅の4つのサービスを備えた施設
・わいは
・坂町ミモザの家

看護小規模多機能型居宅介護
わいは

住所: 新宿区上落合1-23-19
TEL: 6908-6036

暮らしの保健室

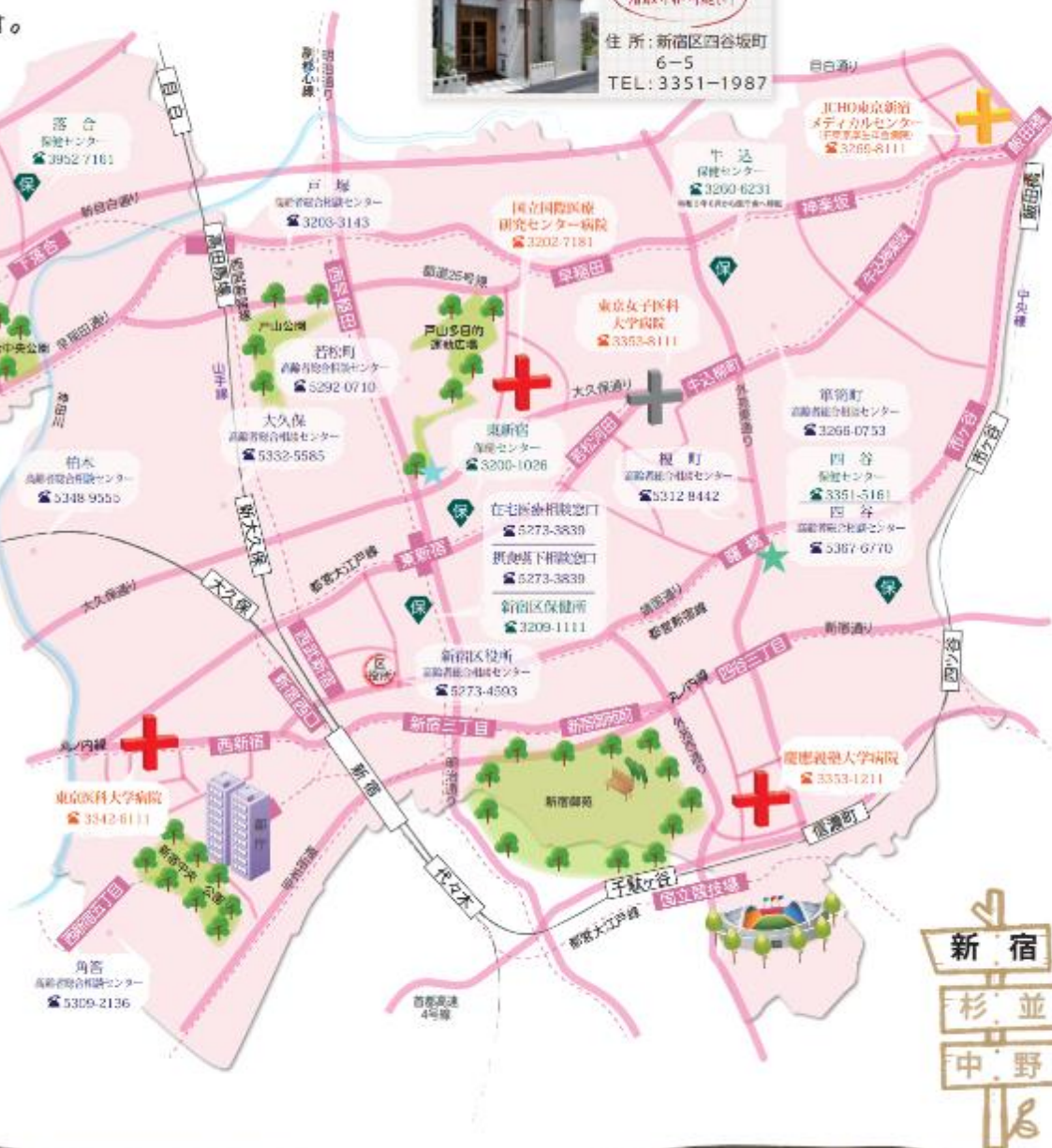


住所: 新宿区戸山2-33
戸山ハイム33号棟125
TEL: 3205-3114
【がん療養相談窓口】
月～金曜日: 13時～16時30分
土曜日: 10時～14時

看護小規模多機能型居宅介護
坂町ミモザの家

家族と共に
看取りが可能です。

住所: 新宿区四谷坂町
6-5
TEL: 3351-1987



新宿

杉並

中野

地域連携

情報提供

コラボ

課題



浜本康夫先生 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 副センター長・准教授
押川勝太郎先生 宮崎善仁会病院 消化器内科・腫瘍内科



川上尚人先生 近畿大学医学部附属病院 腫瘍内科 医学部講師
倉持英和先生 東京女子医科大学病院 化学療法・緩和ケア科 診療部長・准教授

公開セカンドオピニオン

胃がん

スペシャル

2020年12月19日(土)

14時

第9回市民講座はライ

共催:慶應義塾大学腫瘍センタ
/スキルス胃がん患者家族会



轟浩美さん
認定NPO法人
希望の会

6242回

視聴

第11回 慶応義塾大学病院 市民公開講座

がん治療と栄養(悪液質)について

講師



浜本 康夫 先生

講師



高橋 瑞保 さん

司会



轟 浩美 さん

食欲がないのは
がんのせいなの？

悪液質って
なに??

治療法は
あるのかしら？

【主催】 慶応義塾大学病院腫瘍センター

【共催】 スキルス胃がん患者家族会認定NPO法人 希
一般社団法人 ピーペック

患者会・患者支援団体の活動支援プロジェクト

1.2万回
視聴



1871回
視聴

Japan Cancer Forum

慶應義塾大学病院 共催

がん情報の集め方

主治医は大切な情報源、聞きたいことを聞くコツ

浜本 康夫

慶應義塾大学病院
腫瘍センター 副センター長・准教授

松田 諭

慶應義塾大学病院
一般・消化器外科

飯島 美穂

慶應義塾大学病院 看護部 /
がん看護専門看護師

司会：久住 真有美

慶應義塾大学病院 医療連携推進部／がん相談支援センター ソーシャルワーカー



資料6



15

0:06 / 44:35



地域連携

情報提供

コラボ

課題



慶應義塾大学病院 & 食がんリングス共催
Web市民公開講座 頸部食道がんシリーズ-2

頸部食道がんの、 外科治療

関西医科大学 医学部 准教授 山崎 誠先生



Cancer Channel



どこに？

膵臓がん 1:06:15

がんを「知る」「学ぶ」「集う」



認定NPO法人
キョーサーネットジャパン

10万回
視聴

Oncolo Channel



Oncolo Channel video thumbnails and titles:

- 小倉さん、そこまで言っているんですか...!? がんサバ... 36:02
- がんサバ... 45:33
- なぜ放射線はがんにも効くのか? 重粒子線、陽子線とは... 29:15
- 免疫チェックポイント... 11:10
- 前立腺がんセミナー 赤倉 功一郎先生 (JCHO東京新宿... 1:02:00
- がんサバイバー対談: ワッキー (ペナルティ) × 笠井 信輔 49:15
- 悪性リンパ腫セミナー 伊豆津 宏二先生 (国立がん研究セ... 1:04:11
- 膀胱がん「議... 先生 (大阪市...

がんの臨床試験一覧

【第73回】大腸がん

ONCOLO Meets Cancer Experts

LIVE 2022/1/28 (金) 19:00~

「大腸がん」

浜本 康夫 先生

1.4万回
視聴

484回 視聴

がんネットワーク
TOKYO
がんになっても安心して暮らせる東京

資料6

東京都のがん医療をよりよいものとし「がんになっても安心して暮らせる東京」を目指し東京都在住、在勤の有志の患者、医療関係者が集い、発足した交流と学習の場です





発行：ネスレ日本株式会社 | ネスレヘルスライフェスカンパニー

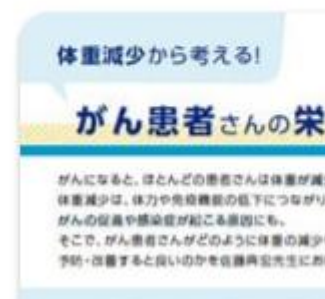


手術前からはじめる「プレハビリテーション」の重要性



がん

がん治療の新しい常
の栄養術とは」



資料6

「抗がん剤治療」

～最新の薬物療法について、一緒に学びましょう！～

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター
浜本康夫

「抗がん剤の目的」

～最新の薬物療法について、一緒に学びましょう！～

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター
浜本康夫

食べられない 患者さん

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター
浜本康夫



Club CaNoW
エムスリー株式会社



病に負けない、人生を輝かせる

Club CaNoW

がん患者さんにご家族のための
会員制コミュニティ

初めてでも大丈夫！

座ってできる
笑顔ヨガ

オンライン開催 | 無料イベント
2月4日 土 15:00~16:15

がんを体験された方からは
RYOGA / によが 主催
小山 紀枝氏

教えて先生！

賢い患者 になるために知っておきたい
正しい情報 の 見極め方

初級編

がんと闘く医療従事者
野北 まどか氏

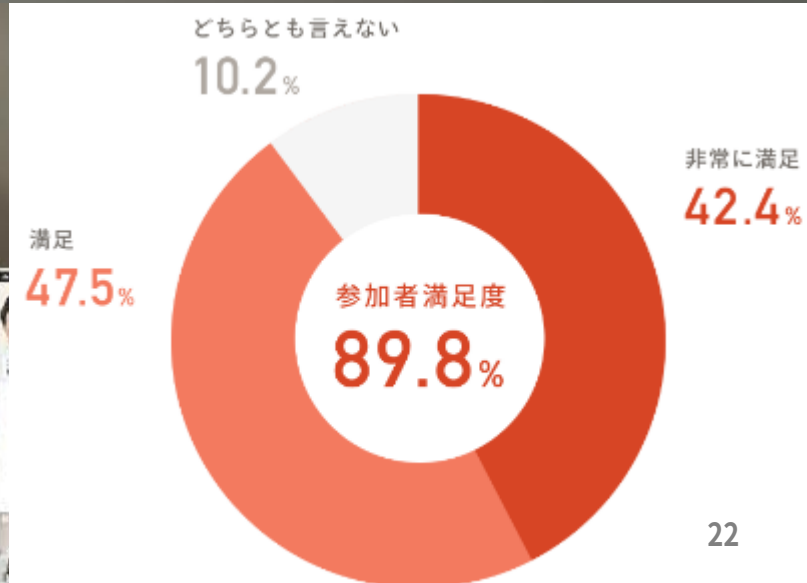
オンライン開催 | 無料フェビナー
1月12日 木 19:00~20:15

東証有価証券上場会社
がんセンター 事務局
浜本 康夫氏

不安な気持ちの
上手な付き合い方

がんを闘う方
山本 浩二氏

がんを闘う方
山本 浩二氏



地域連携

情報提供

コラボ

課題

事例 1 透析事例（食道がん、ステージI）

- 非外科的な治療希望し某拠点病院へ電話相談
- 電話で断られた
- 患者曰く、透析でも治療していると謳っているとのこと
- 当院受診し透析しつつ化学放射線療法を実施
- 「病院としてもっとアピールすべきだ」

事例2 緩和ケア症例の（押し付け）転院

- 末期大腸がん（高齢）、治療終了
- 緩和ケアを推奨したが患者の希望と（称して）慶應紹介
- 治療の余地なし、元の病院も受け入れせず（患者も拒絶）
- 数か月かけて当院で苦労しアドバンスケアプランニング
- 本来であれば元の主治医がすべき作業
（施設は指導的な拠点病院、ACPの手を抜いた）

**病院は基準を満たしている
全職員に周知徹底できていない**

課題：社会連携に基づくがん対策・がん患者支援

- **施設間訪問・交流がウェブ（COVID-19の影響）**
 - クチコミ的な交流の欠如、コミュニケーション希薄化
 - 他施設相互訪問ができない：「空気感」が伝わらない
- **院内の連携活動に格差（担当医、診療科、患者自身）**
 - 「がん診療連携」には様々なギャップがある
- **当該医療圏との連携に限界、アナログ人間への周知困難**